



秋篠宮皇嗣妃殿下と学生ボランティアとのご懇談  
(令和6年4月26日金沢大角間キャンパスにて)

金沢大学ボランティアサポートステーション 有志団体  
石川・能登未来地図 「ボランティア支援活動報告」より

本学 Web サイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/news/144812/>



## 令和6年度学類入学者の 父母等のみなさまへ

金沢大学の学修・学生生活支援の一部をご紹介します



G7 富山・金沢教育大臣会合 エクスカーション（視察）金沢大学角間キャンパスにて実施（令和5年5月15日）  
文部科学省 Web サイト [https://mext.gov.note.jp/n/n6d59aa622f0b?magazine\\_key=m095baa616a1a](https://mext.gov.note.jp/n/n6d59aa622f0b?magazine_key=m095baa616a1a)  
本学 Web サイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/news/123916>



令和6年5月  
金沢大学学務部学務課

—ご質問等がありましたら、いつでもお問い合わせください—

学務課総務係 Email: [stsomu@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:stsomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)

学生支援課学生相談係 Email: [soudan@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:soudan@adm.kanazawa-u.ac.jp)

(学生が所属する学域学生課等でもお受けします)

金沢大学 web サイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/>



### ■成績開示システム

<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/ParentalLogin.aspx>

※父母等の皆さまには学生本人の同意の下、在学中の成績を開示します。令和6年度前期の成績開示日は令和6年10月1日です。

※ID、パスワードは令和6年4月30日に入学手続き時に登録されたメールアドレスへ案内済です。

※ID、パスワードの情報を受信していない等、ご不明な点がある方は、以下をご参照ください。

<https://note.w3.kanazawa-u.ac.jp/contents/367>



## 学修相談



附属図書館では、ライブラリー・ラーニング・アドバイザー（LiLA :各分野の大学院学生や留学生）が学修相談を行っています。対面で相談に応じるほか、オンラインでも相談が可能です。入学直後の時期から、大学における学びを支援する体制を整備しています。

### [相談可能な内容]

日常の勉強法／気軽に英会話／レポートや論文の書き方／プレゼンテーションの方法／語学の学習相談／英語などの文章チェック 等

[https://library.kanazawa-u.ac.jp/?page\\_id=19279](https://library.kanazawa-u.ac.jp/?page_id=19279)

## アドバイス教員

学生一人一人にアドバイス教員を配置しています。入学時に教員名を通知しています。

## 保健管理センター学生相談室



電話・メール・対面での相談が可能です。学生生活を送る上での様々な悩みや問題について、臨床心理士に相談できます。

<http://hsc.w3.kanazawa-u.ac.jp/student-counseling/>

Email: hokekan@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

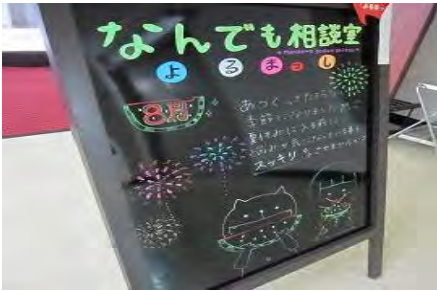
## ハラスメント相談窓口



金沢大学総合相談室

<https://consult.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

Email: consult@adm.kanazawa-u.ac.jp



金沢大学は、  
学生の学修・生活を  
全力でバックアップ  
しています！



## なんでも相談室「～よるまっし～」



「よるまっし」は、金沢の方言で「寄っていきなさい」、「寄ってみませんか」という意味です。気軽に寄っていきようとサブタイトルに取り入れました。

相談体制：教員及び学生相談員による相談  
悩みや相談内容に応じ、専門分野の教員や保健管理センターなどを紹介することもあります

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/kiko/kiko/Nandemo/soudan.htm>

Email: nandemo@adm.kanazawa-u.ac.jp

## 障がいのある学生への支援



障がい学生のニーズを把握し、障がいの状況に応じてノートテイク、パソコンテイクや学修支援チューターの配置など、適切な教育上の配慮や支援を行っています。

また、障がい学生支援室を設置し、きめ細かなサポートを実施しています。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/livelihood/disabilities>

Email: siensitsu@adm.kanazawa-u.ac.jp

## 「LGBTQ+サポートガイド」と相談窓口

金沢大学では、LGBTQ+の学生や周囲の方の修学における支障や心配事を解消することを目指し、「LGBTQ+サポートガイド」をデジタル版で公表しています。

また、LGBTQ+相談窓口も設置しています。LGBTQ+学生のご家族の方からの相談も受け付けます。対面相談は、LGBTQ+の研修を受けた守秘義務のあるカウンセラーが対応しますので、安心してご相談ください。相談内容によっては、ダイバーシティ推進機構担当者がメールにて対応します。

<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/global.html#lgbtq>



ダイバーシティ推進機構



# HaKaSe<sup>+</sup>

「博士進学を目指す学生の後押し」と「未来を切り拓く博士人材になってほしい」という願いを込めたキャッチコピー



「博士号」は  
今後の人生における  
重要なパスポート  
になります！

## 我が国による博士人材支援強化の背景

### 世界情勢・我が国の現状は？

- 経済競争と経済格差の拡大
- 社会・産業構造の変化
- 不透明さを増す社会情勢
- 未曾有のCOVID-19 Pandemicを契機とした価値観の変化 etc.

複合的・複層的な原因が絡む  
多様な社会課題が山積

「知」を結集させ新たな価値を生み出し  
未来社会を切り拓く人材が不可欠

### いま、求められる「博士人材」

- 深い専門性と広い視野
- 高い課題発見力と課題解決力（未知へのアプローチ）
- 国力の源泉「イノベーション」の未来の担い手



学術的「問」に対し、鍛錬を積み重ね、新たな解を生み出し続ける  
しなやかさとタフネスを併せ持つ博士人材が社会で求められている

金沢大学では、①「大学院教育の高度化の加速」と、②「博士人材支援の強化」を両輪で進める

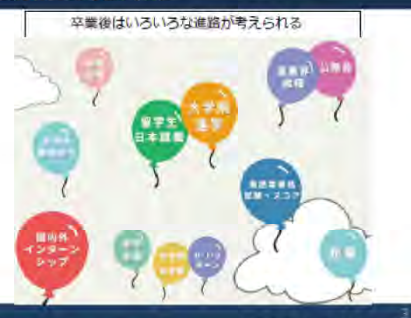
## 大学院教育の高度化の加速

経済的支援やキャリア支援  
も充実しています！

### より早い年次から大学院進学を意識付けする取組みを強化

- 多様な博士学生が集い、より多くの博士人材を輩出するには、本学博士後期・博士課程入学・進学者を増加させる必要
- 特に日本人学生の博士進学意欲を高め、博士進学者を増加させるため、より早い年次の段階から博士進学をキャリアの選択肢の一つとして位置付けられるよう取組みを強化

#### 卒業後のキャリアパス (例)



### 全学類共通の必修科目にキャリア教育1コマを導入 R5年度開始

- 学士課程入学初年次において、全20学類必修の授業科目「大学・社会生活論」(対面授業8回+e-learning)の1コマとして「キャリア形成論」を導入
- 教育担当の学長補佐等が、各学類の特長を踏まえながら大学院進学がキャリア選択の一つであることを講義

### 博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe<sup>+</sup>) 予約採用 R4年度開始

全学類共通の教材の一部

- 博士後期課程への進学を確約し、博士学位取得後の活躍を目指す志高い優秀な学生を選抜し、博士前期・修士課程在学中の入学料・授業料を全額免除
- 学士課程4年次に予約採用の選抜を実施 ▶ 令和6年度～ 博士前期・修士課程1年次学生も申請対象



# 「能登里山里海未来創造センター」

金沢大学は、令和6年1月1日に発生しました能登半島地震における調査・支援活動を実施するため、「能登里山里海未来創造センター」※を設置し、教職員・学生が協働し、被災された方々に寄り添う支援活動と、いち早い復旧・復興に向けた研究活動を継続して行い、地震に関する報告会を定期的に開催しています。

※本学の英知を集結することにより、「地震・災害に強く安全・安心で、だれもが住みよい、文化薫る地域・まちづくりとひとづくり」に寄与し、令和6年能登半島地震の被災地の復興に資することを目的とし、設置しました。

○第1回令和6年度能登半島地震調査・支援活動報告会  
日時：令和6年2月3日開催 [公開資料等ははこちら](#)



○第2回令和6年度能登半島地震調査・支援活動報告会  
日時：令和6年4月21日開催 [公開資料等ははこちら](#)  
・支援活動報告



・[震災後3か月間にKEYPAT※が行ったところのケア](#)

保健管理センター長 教授/吉川弘明

・[能登半島地震被災生徒に対する学びの支援](#)

人間社会研究域学校教育学類 准教授/土屋明広  
人間社会研究域人文学系 教授/轟亮

・[ボラさばによる被災者の方へのボランティア支援活動〔学生発表〕](#)

理工学域地球社会基盤学類 2年 西村省吾

理工学域フロンティア工学類 3年 稲葉勇希

医薬保健学域医学類 5年 橋本晃貴

医薬保健学域保健学類 2年 藤木くるみ

※「KEYPAT」： Kanazawa Educational Yell  
Psychological Assistance Team

次回の報告会は令和6年7月21日予定です。



金沢大学ボランティアサポートステーション 有志団体  
石川・能登未来地図 「ボランティア支援活動報告」より



金沢大学ボランティアサポートステーション 有志団体  
石川・能登未来地図 「ボランティア支援活動報告」より

※参考) 能登里山里海未来創造センター\_体制図



融合学域・研究域、人間社会学域・研究域、理工学域・研究域、医薬保健学域・研究域、国際基幹教育院、附属病院、学内各研究所・センター・機構等  
学域の様々な部局・組織と連携して、オール金沢大学で被災地に寄り添い、被災からの復旧・復興及び支援に力を尽くします。

